

海から生まれる体験学習 (教育旅行誘致推進事業)



江田島海生体験交流協議会

広島県江田島市大柿町大原505番地

電話：0823 (43) 1632 FAX：0823 (57) 4432

E-mail：kouryuu@city.etajima.lg.jp

事務局 江田島市役所 産業部交流観光課内

江田島海生体験交流協議会について

【江田島の紹介】

広島湾内で、4番目の大きさを誇るえたじま。島の周囲は潮の流れが複雑で、多様な水産物の宝庫。中でも有数の牡蠣（カキ）の生産地であり、その生産量は、毎年全国で1・2位を競っています。

かつて、世界三大兵学校として名を知られた日本海軍の幹部養成機関「旧海軍兵学校（現海上自衛隊幹部候補生学校）」など、歴史的な観光資源も豊富です。

瀬戸内海に育まれた海と島の美しい自然景観、豊富な歴史的・文化的資源を持つ、恵み多き江田島市。一年を通して、学び多き島時間を過ごせます。



【協議会の構成】

本協議会組織の構成は、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会と連携し、江田島市副市長を会長に市観光協会、市商工会、市漁業振興協議会と民泊・漁業などのインストラクターで構成されており、市及び市関係団体が一体となって海を活用した様々な体験活動を展開しています。

【受入可能人数】

1日1校（原則1軒4人又は3人）とし、100人（民泊軒数：35軒）の受入が可能です。



受入実績及び計画

年 度	内 訳	受入人数
H28	大阪府中学校（693名）、奈良県高校（123名）、神奈川県中学校・高校（574名）埼玉県高校（430名）など計18校	約2,300名
H29	大阪府中学校（1,257名）、奈良県中学校（99名）、神奈川県中学校・高校（583名）、埼玉県高校（1,006名）など計29校	約4,000名
H30	大阪府中学校（1,001名）、兵庫県小学校（89名）、神奈川県中学校・高校（779名）、長野県高校（336名）など計35校	約4,000名
R1	大阪府中学校（849名）、兵庫県小学校（90名）、神奈川県中学校・高校（650名）、埼玉県高校（891名）など計35校	約3,600名
R2	静岡県高校（48名）	48名
R3	大阪府中学校（143名）、千葉県中学校（50名）、静岡県高校（26名）計3校	219名
R4	広島県中学校（114名）、東京都中学校（29名）、神奈川県高校（67名）、静岡県高校（38名）、福岡県中学校（61名）計5校	309名
R5	大阪府中学校（266名）、兵庫県小学校（89名）、奈良県中学校（72名）、神奈川県中学校・高校（107名）など計20校	約1,000名
R6	大阪府中学校（243名）、兵庫県小学校（90名）、奈良県中学校（122名）、滋賀県中学校（169名）など計16校	約1,000名

江田島市の地理・アクセス



2つの世界遺産から近い

- 広島港（広島市）から江田島市へ
⇒船（高速船）で約30分
- 宮島（廿日市市）から江田島市へ
⇒チャーター船で約40分

陸路（バス）でも入島可能

江田島市は2本の橋で本土と接続しているため、呉市から陸路で入島可能

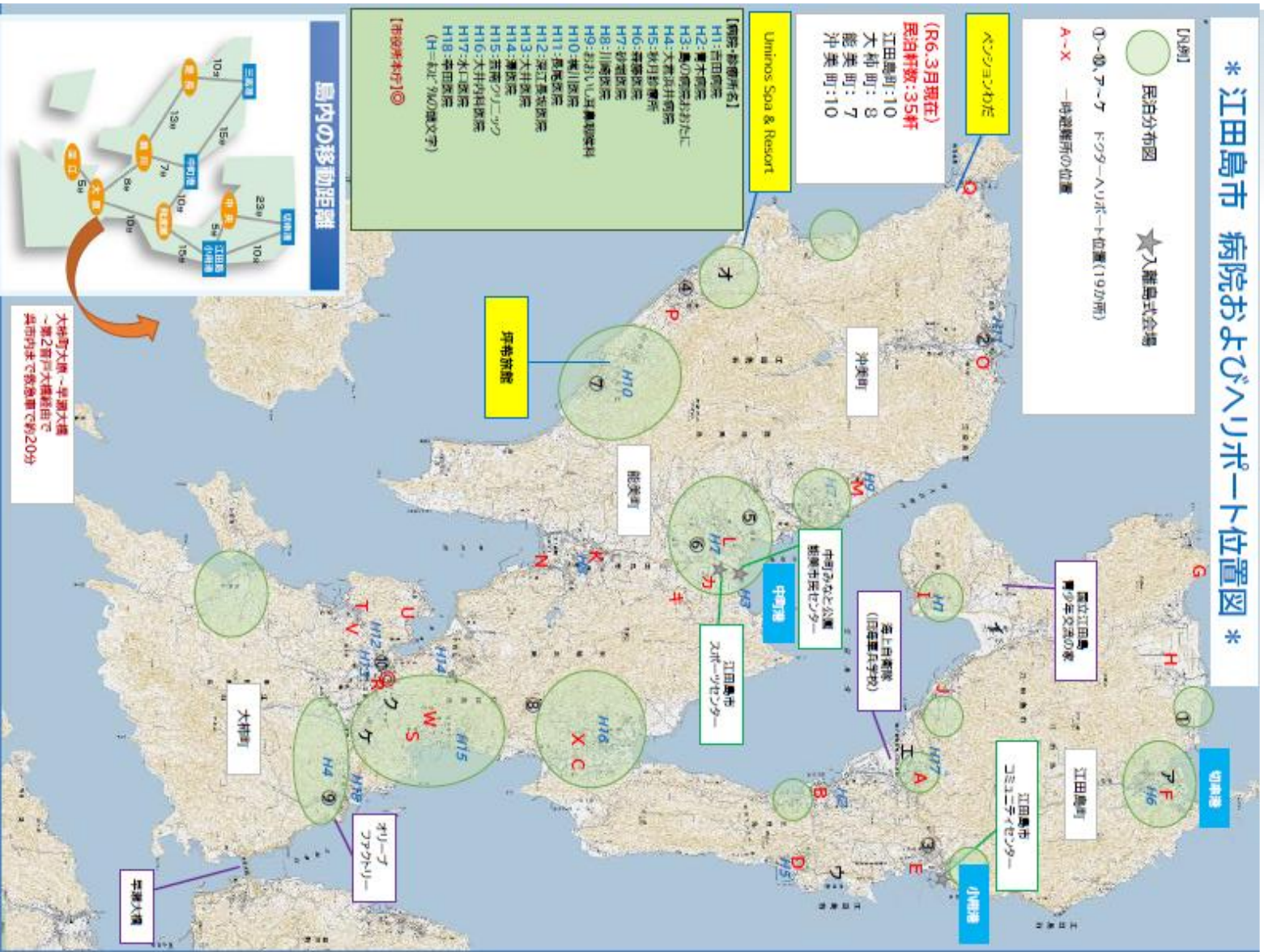
- 平和記念公園（広島市）～江田島市
⇒約1時間30分
- 宮島（廿日市市）～江田島市
⇒約1時間45分

大阪府～江田島市

- 新大阪駅～広島駅 新幹線：1時間20分
- 広島駅～広島港市内電車：30分
- 広島港～江田島市 高速船：30分

受入マップ

* 江田島市 病院およびハリポート位置図 *



おすすめの

選択別体験プログラム

おすすめ1

【シーカヤック体験】

安全なマリンスポーツ。波静かな海を間近に感じる。

体験時間3時間 受入最大60人 実施時期：3月～11月

～体験の流れ～

①乗り方等説明 ②近海で操船の基礎練習 ③沖合で操船体験



おすすめ2

【船釣り体験】

遊漁船で魚釣り。ベテラン漁師たちと一緒に海へ出発。

体験時間3時間 受入最大43人 実施時期：通年

～体験の流れ～

①ライフジャケット着用 ②各船に乗船 ③沖合で釣り体験



おすすめ3

【陶芸体験】

手びねりでじっくりと作成。講師のお話にも注目。

体験時間2～3時間 受入最大30人 実施時期：通年

～体験の流れ～

①陶器と磁器の違い等説明 ②作り方説明 ③作品づくり



SDGs学習のテーマ

江田島市の魅力と課題

魅力

①美しい海と島の豊かな自然

3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）のまち。県内有数の柑橘、花卉の栽培地。質・量ともに日本一を誇る広島のカキの代表的産地。カキ筏の並ぶ風景は江田島ならではの！近年ではオリーブの栽培にも注力！

②潮風薫る、歴史の島

江田島の旧海軍兵学校（現海上自衛隊第1術科学校）は世界3大兵学校の一つとして数えられていました。歴史的建造物や特攻隊に関する資料から歴史が学べます。

③2つの世界遺産に近い民泊地

修学旅行の第1目的は広島での平和学習。その広島市に近く、また、厳島神社のある宮島にも近い！都市部（広島・呉）に利便性の良い地で心とココロの交流ができます。

課題

①農業・漁業の後継者不足

過疎高齢化が進み、第1次産業の担い手がない。空き家や耕作放棄地が増え、さらには鳥獣被害で自慢の農業にかげりが。

特に柑橘の栽培農家は年々減ってきており、生産量が大きく落ち込んでいます。

②青い海が泣いている

浮遊・回遊ゴミが多く流れ着き、海浜の管理が行き届かなくなっている。また、その清掃の費用もかさんでおり、市の財政を圧迫しています。

③観光客数の伸び悩み

宿泊客数が観光客数の5分の1に止まっている。広島や宮島等の観光地に隣接し、また、カキなどの大きな魅力がありながら、地の利や魅力を生かしきれていません。



担い手不足＋価格低迷＝耕作放棄地 オリーブ導入で島を元気にしていこう！ —江田島市 SDGs 探究学習プログラム—

○体験プログラムのねらい

江田島市は、瀬戸内海の温暖な気候や島しょ部特有の傾斜地を活用して、柑橘類・花・野菜の栽培が行われているが、農産物の価格低迷や燃油などの農業資材の高騰などによって農業の収益性は低下し、後継者の育成も難しい状態にある。

現場体験と生産者から情報収集を行い、課題解決を考え、自ら何ができるかを考える。



～体験プログラムの流れと課題探究の手順～

- ①開始（自己紹介・体調管理・安全対策）
- ②オリーブプロジェクトの概要を理解する
- ③栽培の適地条件と概要を理解する
- ④栽培から搾油するまでの作業を理解する
- ⑤実体験から労働の大変さとやりがいを理解する。
- ⑥六次産業化の仕組みを理解する
- ⑦市場動向・農業生産性などの現状を把握する
- ⑧どんな課題が存在しているのかを考える
- ⑨課題解決の障害はあるのかを考える
- ⑩課題解決策を考え議論する
- ⑪まとめの会（体調確認・感想発表）



所要時間：3時間 実施時期：通年
受入人数：最大40名 最小10名

○体験プログラムの教育効果

- ①瀬戸内海の気象的地形を理解する。
- ②労働の尊さや価値とやりがいについて学ぶ
- ③食文化・過疎高齢化など、日本の社会問題を理解する
- ④情報を整理し、自分事として考え議論する
- ⑤設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ①働くことの大変さや大切さ、働きがい
- ②森林や農地の維持管理の大切さ
- ③社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

- ・帽子 ・タオル ・水筒
- ・汚れてもよい服・靴（長袖・長ズボン）

江田島オリーブプロジェクトって??

江田島市の気候風土を生かし、新たな産業と特産品づくりを目指して、オリーブの栽培を開始しました。

耕作放棄地や遊休農地の再生して、利用可能な耕作地にして働きがいのある事業を起こして、地域活性化につなげます。

オリーブを通じて、市民・企業・行政が連携して活気あるまちづくりを実現させていきます。



海洋ゴミは身近な問題。身近な海を次世代に。 —江田島市 SDGs 探究学習プログラム—

○体験プログラムのねらい

江田島市内の海岸には大量の海洋ゴミが漂着している。実際にその現場を見て、ゴミを拾ってみることにより、海洋ゴミがどこからきて漂着をしているのかなどの背景を分析するとともに、いかに大量の廃棄物が投棄され、環境悪化を招いているかを学ぶ。

現場体験から情報収集を行い、課題解決を考え、自ら何ができるかを考える。

～体験プログラムの流れと課題探究の手順～

- ①開始（自己紹介・体調管理・安全対策）
- ②江田島市の海を取り巻く環境を理解する
- ③ビーチクリーンを通して、海洋ゴミ投棄の背景を分析・理解する。
- ④拾った海洋ゴミを使ったアート作品づくりなどを通してゴミの活用方法を考える
- ⑤どんな課題が存在しているのかを考える
- ⑥課題解決の障害はあるのか考える
- ⑦課題解決策を考え議論する
- ⑧まとめの会（体調確認・感想発表）

所要時間：3時間 実施時期：通年
受入人数：最大20名 最小10名

未来の海づくり大作戦って??

瀬戸内海はただ美しいだけではなく、多くの生き物が育ち、水産業をはじめ人の営みの器であり、気候にも大きく影響しているのが私たちの身近な海です。

一方で、地球温暖化、海洋ゴミといった問題もあり、何もしなければ悪化していく一方です。

自分たちの目の前にある海に対して、自分たちができることからコツコツと取り組んでいくことで明るい未来を描いていきたい。そんな思いを共有し行動する。それが『未来の海づくり大作戦』です。



○体験プログラムの教育効果

- ①瀬戸内海がもたらす豊かさを学ぶ
- ②海洋ゴミを通して環境問題を考える
- ③情報を整理し、自分事として考え議論する
- ④設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑤達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ①海の豊かさや海がもたらすめぐみ
- ②海の維持管理の大切さ
- ③社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

- ・帽子 ・タオル ・水筒
- ・濡れてもよい服・靴

本部宿舎～その1～

Uminos Spa & Resort



〒737-2313 広島県江田島市沖美町是長1432-2
TEL : 0823-49-1515 FAX : 0823-40-5002

-サンビーチおきみを改装し'19年7月再オープン！-

Uminos Spa & Resortの客室は、全室テラス付のお部屋であり、すべてのお部屋からオーシャンビューが楽しめます。

日が沈む時には、透き通った海が、マリンブルーから茜色に移り変わる様子を、朝起きた時には、朝日に照らされた瀬戸内海をぜひ、ご覧ください。

また、お部屋だけではなく、大浴場からも瀬戸内海の景色が望め、身体も心もゆっくりと癒すことができます。



定員

48名

客室タイプ

和室10畳 (2部屋・定員5名) 和室8畳 (8部屋・定員4名)
洋室ツイン (3部屋・定員2名)

料理

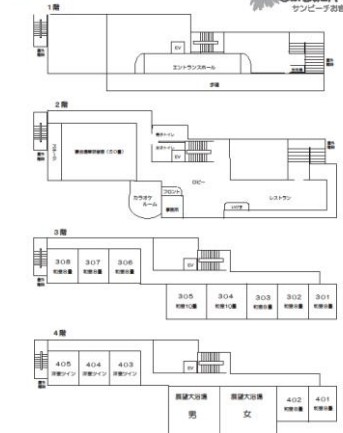
バーベキューなど

予約方法

直接ホテルまでお電話ください。(0823-49-1515)



館内案内図



● 館内設備
※自動販売機は4階にご存じます。
※コインランドリーは、3フロア(1名)
※洋室は/トイレ付、和室はトイレ付です。
※温泉浴場の利用のトイレは2階にご存じます。

本部宿舎～その2～

坪希-TSUBOKI-

〒737-2312 広島県江田島市沖美町畑6-2
TEL : 0823-48-0018 FAX : 0823-48-0018

-瀬戸内海の隠れ家-

江田島市沖美町に古くからある老舗の料亭・料理旅館です。

明治からの歴史と格式を感じさせる情緒ある建物と調度品、そして、新鮮な海の幸・山の幸を使った自慢の料理が特徴です。

22年4月には別邸「天風邸（てんぷうてい）」がオープンし、古いものと新しいものが穏やかに調和した空間へと変化を遂げました。

江田島市内・市外を問わず、広島県外からのお客にも愛されている名店です。



定員

25名

客室タイプ

本館：和室 10畳（3部屋・定員4名）30畳を仕切り
和室 8畳（2部屋・定員3名）16畳を仕切り
はなれ：和室8.5畳（3部屋・定員3名）26畳を仕切り

料理

すべてコース料理（お造りなど、季節に応じて）

予約方法

直接ホテルまでお電話ください。（0823-48-0018）



本部宿舎～その3～

ペンションわだ

〒737-2314 広島県江田島市沖美町美能965-6
TEL : 0823-47-1121 FAX : 0823-47-1121

-くつろぎと味わいのお宿-

ご夫婦で経営されているアットホームな民宿で、温かく迎え入れてくださいます。一番の目玉は、広島市内の小料理屋で料理人をされていたご主人が作る魚料理であり、ボリューム・質ともに満足すること間違いなしです。お部屋やお風呂も大きく、また、落ち着いた雰囲気ですので、ゆっくりと過ごすことができます。



定員	15名
客室タイプ	和室8畳（1部屋・定員3名） 和室6畳（3部屋・定員2名） 続き間8畳+6畳（1部屋 襖で仕切って2部屋に）
料理	お造りなど
予約方法	直接ホテルまでお電話ください。（0823-47-1121）

